

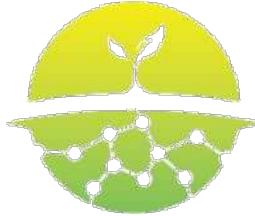


クレアトゥラ株式会社  
Creattura Co., Ltd.

## 超過削減量に関するご提案



# 1. 会社概要 (1/2)



**Creattura**

<Mission>

**To preserve and regenerate humanity's natural heritage for future generations**

かけがえのない自然を次世代へ

<Vision>

**To pioneer innovative climate solutions utilizing technology and climate finance,  
in order to reduce greenhouse gas emissions and protect our planet's natural capital.**

脱炭素社会の実現と自然資本の回復へ  
テクノロジーとカーボンファイナンスを駆使し、先進的なソリューションを創造します

<Values>

**Do the right thing, Own the outcome, Think beyond carbon**

# 1. 会社概要 (2/2)

<b>名称</b>	クレアトゥラ株式会社	<b>設立</b>	2022年7月4日
<b>代表者</b>	代表取締役CEO 服部 優康	<b>資本金</b>	2億9,030万円
<b>本社所在地</b>	東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ 17階	<b>株主</b>	主要経営陣、DBJキャピタル(株)、三井住友海上キャピタル(株)、日本ベンチャーキャピタル（株）、Niterra 水素の森ファンド（運営者：グローバル・ブレイン(株)）、TOKYU-CNST GB Innovation Fund（運営者：グローバル・ブレイン(株)）
<b>取引銀行</b>	りそな銀行 室町支店 商工組合中央金庫 本店 日本政策金融公庫 東京中央支店 三井住友銀行 麻布支店 三菱UFJ銀行 日本橋支店 住信SBIネット銀行 第一法人支店	<b>代表 経歴</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>1999年に大学卒業後、アンダーセンコンサルティング（現アクセンチュア）に入社し、官公庁を中心にIT・BPRのコンサルティングに従事。2006年、リクルートエージェントに転職。経営企画部等で中期経営計画の策定・推進等に従事。</li><li>2010年エコノスに新規事業部の責任者として入社。カーボン・オフセット事業の立ち上げに従事。当社でスイスNPOマイクライメイトとの事業提携を実現。2011年にエコノスとマイクライメイトの共同出資でマイクライメイトジャパンを設立。2013年より代表取締役。2019年に同社を離れ、1社同業の代表を務めたのち、2022年クレアトゥラ株式会社を設立。</li><li>名古屋大学工学部機械・航空工学科卒業。 INSEAD（仏）・清華大学（中）Dual Degree EMBA修了。</li></ul>
<b>主な事業</b>	カーボン・クレジット、再エネ証書取引 カーボンクレジット開発 気候変動対策推進コンサルティング IT/SaaSサービス		

## 2. 弊社の特徴

豊富な実績・人材に裏付けられた質の高いサービスを提供しております



### 取引実績

130万トン以上のクレジット、  
再エネ証書の販売実績<sup>\*1</sup>  
(22年7月-25年6月)

\*1: 再エネ証書はCO2換算



### クレジット創出の知見

8カ国でのJCM開発経験<sup>\*3</sup>

\*3: 社員が有する実績含む

多様な方法論を用いた  
Jクレジット申請等経験<sup>\*4</sup>

\*4: 社員の有する経験、および、自社開発分含む。EN-S-002、EN-S-012、EN-R-001、EN-R-002、AG-004、AG-005、FO-001

Jクレジット・  
JCM方法論提案・採択経験

\*3: 社員が有する実績含む



### ITの活用

社内ITチームの保持による  
カーボンクレジットに特化した  
システムの開発能力

特許の取得実績



### グローバルネットワーク

12カ国・地域からの  
多様な人材  
(25年1月時点)

9カ国・地域のパートナーを  
通じた業務・取引実績  
(24年1月時点)

### 3. 事業概要

» 当社は、企業の脱炭素に関するサービス、特に国内コンプライアンス市場に向けた創出クレジットの供給およびSaaSの提供にフォーカスを絞って展開しております。

#### カーボンクレジット・再エネ証書取引

- 国内外のクレジットホルダーからカーボンクレジットや再エネ証書を仕入れ、それを必要とする企業に販売する事業。
- 様々なクレジット、証書を扱う。取扱量は、3年間130万トン以上で国内ではトップレベル。
- 東京都・埼玉県 排出量取引制度においても、第3計画期間において20万トン以上の取引を実施。

#### カーボンクレジット開発

- 国内外のカーボンクレジットの開発(支援)を行う。国内では8万トン規模のクレジット、海外でも10万トンを超えるプロジェクトを開発済み。今後、さらに事業領域を拡張していく。

#### コンサルティング

- カーボンクレジット、カーボンオフセット関連に特化したコンサルティング及び調査を行う。
- 当社のグローバルネットワークを活かした世界各国での再エネ導入調査、および、大手製造業向けに再エネ切り替え、大規模再エネ（VPPA）の導入に関するアドバイザリーサービスも実施。

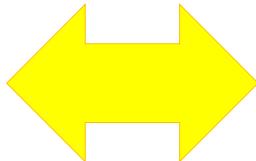
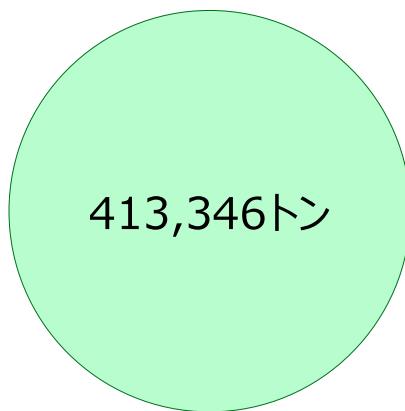
#### IT/DXサービス

- カーボンクレジットの中でも状況の捕捉が難しい林業・農業のプロジェクトを中心にモニタリングし、トレーサビリティを確保するシステムを開発。
- 社内プロジェクトでブラッシュアップを行い、将来的な外販を視野に入れる。

## 4. 東京都排出量取引制度 弊社の取引実績

- » 東京都が公表している一般管理口座間の移転実績には、売買が伴わないグループ内・企業内の取引も含まれます。
- » その中で、弊社は相当程度の売買を実現しております。

弊社の移転実績  
(22~24年度合計)



東京都の一般口座間の移転実績



合計781,042トン

## 5. 東京都排出量取引制度 第4計画期間に向けたポイント

- » 流動性が低く、取引実態がわかりづらいマーケットのため、円滑な取引には実績のある仲介事業者を活用することが重要です。
- » そのような中、**第4計画期間で活用できる超過削減量のご提供が可能な弊社に相談頂ければ幸いです。**

購入希望者の注意すべき  
ポイント 第4計画期間の義務が48%～50%に上ることがあり、提供側の超過削減量価格上昇への期待が大きい。

纏まった数量を提供できる事業者や、取引を経験したことのある事業者は限られるため、仲介事業者を使わないと契約や移転の手続きが煩雑になる可能性が高い。

売却希望者の注意すべき  
ポイント FIT非化石証書や電力会社の電力メニューを活用できることから、RE100やSBTiの対応を推進する企業は、超過削減量の購入が基本的に必要なくなる。

各事業者は、東京都・埼玉県間を含めて、グループ・企業間での取引を優先するため、購入希望者を特定し、取引を交渉することには労力を有する。

購入希望者も、新任の方が就くことが多くあり、制度に対する説明を求めるため、超過削減量の売却には、相応の業務知識・経験が求められる。

## 免責事項

- ・ 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の業界動向等の変化により、内容が変更となる場合がございます
- ・ 本資料を使用した結果について、弊社は責任を負いません
- ・ 本資料に係る一切の権利は、他社資料の引用部分を除いてクリアトゥラ株式会社に属し、いかなる目的であれ、本資料の一部または全部の無断での使用・複製はお断りいたします



Creattura 問い合わせ先 藤本・ライ

- 
- +81 03-6777-7880
  - ✉ info@creatutura.com
  - 🌐 www.creattura.com

